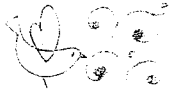


# ゆりかご園だより

2期(6~9月)のねらい  
からだづくり活動を通して  
子ども関係の質を高めよう



2018・7・2

先月のバザお疲れ様でした。皆さん楽しめたでしょうか。それほど良い天気とはいえませんでした。卒園・転園した方たちや地域の方たちがたくさんおみえにたまり、にぎやかなバザになりました。

ゆりかごのバザの歴史は開園当初に遡ります。園舎を建てた時の借金返済が一番の目的だった頃は、年に2回6月と10月にバザを行っていました。1回の目標金額が50万円、年に100万円ものお金を稼ぎ、18年かけて返済したのです。借金がなくなると、バザをやめるという選択肢もあったのですが、父母・職員・理事で話し合いを重ねた結果、バザを通して大人たちがつながれる、そして子どもたちや地域の方たちに喜んでもらいたい、大人たちの負担にならないよう、回数と目標金額を下げて続けることにしたのです。1992年、今から26年前のことです。

売り上げよりも、皆に喜んでもらえるバザを目標にかたちを変えてきました。以前は古着や雑貨はそれぞれ7~8万の売り上げがありました。出品数もリサイクルショップやネット販売など、時代と共にお客さんの要求も変わってきているようです。また、思い出のつまった品や手間ひまかけて作ったものが激安価格で売られるとなると心が痛みます。

それでも続けるのは、売り上げ金額よりも、大切にしたいことがあるからです。当日の朝、門扉あたりに布看板をつけていると、近所の方が声をかけてくださいました。3年前に亡くなった御主人は、ゆりかごのバザのお餅が大好きだったそうで、仏壇にお供えできて嬉しいわと言ってくださいました。バザがいつたのにか気になっていました。数年前から電柱にポスターを貼ることができなくなり、バザの開催を十分に周知することが難しくなりました。周知方法を検討しつつ、楽しみにしてくださる方がいる限り、この地域で保育園を続けていけることに感謝しながら、毎年開催していきたいなと思います。

今月は夏まつりがあります。その売り上げで全国合研に代表を派遣します。今年は早々にメンバーが決まりました。バザと目的は違いますが、バザ同様子どもも大人も大いに楽しんで代表を送り出しましょう。